

保健文化賞

主催：第一生命保険株式会社

後援：厚生労働省、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人NHK厚生文化事業団

保健衛生向上のために・・・ 「保健文化賞」の創設

第一生命は、生命保険業を通じた社会への貢献とともに国民の皆さまの健康・保健衛生の向上に努めています。当賞は、保健衛生の向上に取り組む人々に感謝と敬意を表する賞として1950年に創設。おかげさまで今年78回目を迎えます。厚生労働省などの後援を得て毎年実施し、その時代におけるさまざまな課題に取り組んでこられた方々を表彰しています。

受賞者の方々は
例年天皇皇后両陛下の拝謁をお受けいただいており、権威ある賞として高く評価されています。



近年では・・・
「高齢者支援」「障がい者福祉」「メンタルヘルスケア」などに取り組む、NPO法人なども多く受賞されています。

過去の受賞者様ご紹介

受賞年 (受賞回)	受賞者名 (敬称略)	功績
2025年 (第77回)	＜団体の部＞ 特定非営利活動法人 チームふくしま	無人福祉型子ども食堂の運営や「お互いさまチケット」の取組を通して、子育て貧困世帯の生活・自立や障害者の就労・社会参加などを支援し、子どもたちの心身の健康づくりや地域共生社会の実現に貢献している。
2025年 (第77回)	＜個人の部＞ 池田 正一	障害児に対する歯科医療の学術的確立及び地域における障害者歯科連携システムの構築のほか、血友病患者、HIV感染者及び無痛無汗症など難病患者に対する歯科・口腔衛生の実践を通して、差別のない歯科診療の向上に貢献している。
2024年 (第76回)	＜団体の部＞ 認定特定非営利活動法人 マイママ・セラピー	相談場所の設置や講座の開催等により、自信を持って育児できる母親を育成するとともに、出産時に妊婦が利用できる「ゆりかごタクシー」の仕組みを他機関と協働して構築し、妊婦が安心して暮らせる地域づくりに貢献している。
2024年 (第76回)	＜個人の部＞ 大田 仁史	シルバーリハビリ体操の考案と長きにわたる体操指導士の養成により、茨城県内外に同体操を普及させるとともに、高齢者が自主的・継続的に介護予防に取り組める体制を構築し、介護予防の推進に貢献している。

保健衛生の分野で活動されている方々に贈る

第78回「保健文化賞」 募集要綱

第78回保健文化賞は、2026年2月2日(月)から4月15日(水)まで募集しています。

従来は、個人応募の対象年齢を「原則として50歳以上」としていましたが、**第78回保健文化賞より、年齢制限を撤廃することで、より多くの方々にご応募いただけるようになりました。ご応募・ご推薦をお待ちしています！**

対象

- 健康増進・疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障がい者の保健福祉分野、少子化対策等、地域に密着した地道で身近な活動や実際の活動をしている団体・個人
- 活動実績が原則として10年以上(※)あり、かつ将来の活動も期待できる団体・個人
(※)新型コロナウイルス感染症対策を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。

応募にあたっては必ず推薦者(1団体・あるいは個人1名)が必要となります。

その他、表彰歴等によりご応募いただけない場合があります。

詳しくは募集要綱をご覧ください。

応募方法

- 規定の応募用紙にご記入のうえ、ワードデータをEメールにて送信ください。
第一生命保険株式会社 総務部 保健文化賞担当
Eメール：hobun1950@daiichilife.com
- 応募締切：2026年4月15日(水)
- 審査・発表：2026年9月上旬

表彰等

- 受賞者全員に以下をそれぞれ贈呈します。
 - ・厚生労働大臣賞(表彰状)
 - ・第一生命賞(感謝状、賞金：団体200万円、個人100万円)
 - ・朝日新聞厚生文化事業団賞(記念品)
 - ・NHK厚生文化事業団賞(記念品)



1950年(第1回) 贈呈式

募集要綱・応募用紙は第一生命オフィシャルホームページに掲載しています。



第一生命 保健文化賞

検索

